

第2回理事予定者会議 議事録

一般社団法人 尾道青年会議所
2022年度 第2回 理事予定者会議議事録

日時：2021年10月18日（月）19：00～

場所：尾道国際ホテル

（出席者）

今岡正英・安楽城大作・島田元太・高升純・吉田雄太・歌一行・高橋建太・加藤雅崇・村上康・村橋聡・大池慎三・平岡良之・内海洋平・村上直弘・加藤雄大・半田祐喜・小西琢真・沼尾一・島田昌広・大西貴明・中島裕一郎・高垣悟・安保大輔

（欠席者）なし

（遅刻）なし

（早退）なし

1. 開会：（大西貴明）
2. 点鐘：（今岡正英）
3. JCI クリード唱和：（大池慎三）
4. JCI ミッション並びにJCI ビジョン唱和：（内海洋平）
5. JCI 宣言文朗読並びに綱領唱和：（村上康）
6. 出席者の確認：（中島裕一郎）
7. 配布資料の確認：（大西貴明）
8. 議事録署名人並びに議事録作成者の氏名：（今岡正英）
9. 議題の確認：（大西貴明）
10. 理事長予定者挨拶：（今岡正英）

皆さんこんばんは。本日は第2回の理事予定者会議にお集まりいただきましてありがとうございます。漸くみなさんと顔を合わせての理事会の開催と言うことで大変嬉しく思っております。前回の理事予定者会議の時に私が皆さんにお伝えした内容で、少し誤解を招いていると感じたことがありますので、この場で再度お伝えさせていただきます。コロナ禍でも開催できるようにということで、2本立ての議案で考えてくれというお話をしたかと思いますが、これは一つの議案がもしコロナが感染拡大した際に実行できないという場合に備えてもう一つ用意をしてほしいということですので、一つの議案で感染拡大の最中でも実行できる内容であれば一つで構いません。ですのでその認識を皆さんにしておいていただければと思いますのでよろしく願いいたします。

今回は委員長所信、それから委員会所管業務予算の上程が各委員長からあります。所信の読み上げにつきまして、今回は行わないようにということをお伝えしておりますので、所信を

第2回理事予定者会議 議事録

どういった思いで書いたのか、というところを委員長の方からご説明いただければと思います。予算に関してですが、例年通りの内容であればそこまでの説明は必要ないと思っておりますが、金額が例年から変わるところに関してはそれぞれ委員長の、そして副委員長の思いがあって変更している物と思いますので、重点的にご説明いただければと思います。

全体の予算の上程もございます。全体の予算に関してですが、現状非常に厳しい状況にございます。会員数の減少によって、収入面が非常に少なくなっているというのが現状です。その中で管理費は固定費としてかかってきますので、収入が減って、固定費は変わらないということであれば、事業費の部分も厳しい状況になってくるということはお理解いただけるかと思えます。積立に関しましても周年の年に向けて毎年100万円の積立をしていたのですが、今はそういった積立ができない状況です。年によっては50万の積立しかできないこともあるということで、今まで通りとは行かない状況となっております。

しかし、そういった状況ではあります、事業を縮小してほしいというわけではありません。それぞれの委員長が、委員会メンバーが考えた、そういった事業であれば組んでいる予算金額をオーバーしても構いません。その事業にそれだけの価値があるのであれば正副で話をした上で実行することも可能です。例えば予算を30万で組んでいるところに、結局50万必要になりそうだ、ということであればそのためのお金の集め方というのは様々あります。事業の際に会費を集めるですとか、尾道市、商工会議所、その他にも観光協会であるとか、違う団体との協力、協賛を頂いて実行することも可能です。ですので金額に見合った内容というのを追求して事業構築を進めていただきたいと思います。

もう一点、皆さんにお伝えしておこうと思っていることがあります。先日次年度理事長のスタートアップセッションが全国大会の日曜日におこなわれたのですが、それを受けた中での内容です。次年度日本JCの会頭が話されていた事ですが、昨今コロナ禍によって状況が変わってきています。そんな中で、今までのルール、今までの事業で行っている、時代とあっていないものになってしまうということで、そういった合わない物はどんどん変えていってほしいというお話をされていました。それを変えていくのは私を始めとした今ここにいる理事メンバーですので、理事会メンバーは、「このルールは違う」ですとか「この事業は今の状況にあっていない」等と感じたら変更して行っていただきたいと思います。私の所信のテーマは「守破離」ですが、破と離の部分、変えるべきもの、新しいものを作り出すものということで、そういった事柄に関しましてはどんどん時代にあったものに変えていって頂きたいと思えます。皆さんの事業構築においてそうした変更点等ありましたらどんどん言っていただいて、時代にあったものにしていただければと思っております。

以上で理事長予定者挨拶とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

11. 直前理事長予定者挨拶（安楽城大作）

皆さんこんばんは。先程冒頭で唱和を2回繰り返すという私ができなかった新しいことを始められたわけですが、非常に良いなと思えました。色々な会を始める際には唱和を行うわ

第2回理事予定者会議 議事録

けですが、最近の雰囲気を見ているとやる気がなく、のんびんだらりとやられているような印象です。やるならやる、やらないのであればやらなければいいので、無気力にやるぐらいであればもうやらないと決めることも JC 活動を行う上で大事なことです。やるならしっかりやるということが大切であると考えておりますので、是非理事の皆さんから積極的にやっていくべきだと思いました。すごく良いなと思います。

10月、2回目の理事会というわけですがもう皆さん委員会の中で来年どういった事業をするかということは考えられているのではないかと思います。前回1回目の理事会で私から役割をしっかりとこなしてほしいということをお話させていただきましたが、今回は委員会運営、委員長に対してということですが、やはり委員長が理事の中では一番その1年で成長する機会が多い立場であると思います。委員長を経験することによって、その後色々な役割をこなしていきますが、その委員長でやったことを反省して行くことが自分の成長につながると私は一番思っております。反省ができるのは真剣にやった人だけですので、適当にこなすというやり方をしてしまうと時間を無駄にするだけです。そこは気をつけていただければと思います。今の段階で皆さんに絶対にしてほしいと思っている事、まあもう皆さんされているとは思いますが、それは1年間どういうことをするのか、テーマを自分で決めてほしいと思います。1年後、来年の12月にはこうなってほしい、こうしているという目標を立てて活動してほしいと思います。それを真剣にやることでこの1年の意義が出てきますので、そちらを意識して準備段階に励んでいただければと思います。

1年本当に大変だと思います。65周年もありますし、恐らくコロナ禍も明けるでしょう。本当に精一杯できるきっかけの年だと思いますので、皆さんで明るい尾道を作っていってほしいなと思います。以上です。

12. 理事長予定者報告：(今岡正英)

資料にて確認。

13. 委員会報告：

【65周年特別室】(吉田雄太)

「65周年実行特別委員会」(加藤雅崇)

委員会報告は次第の通りです。

委員会メンバーの紹介や1年間の流れも大体共有し、今は実際に新年例会に向けて色々と話しを進めております。

本日協議上程1件ございますのでどうぞよろしく願いいたします。

「総務広報委員会」(村橋聡)

委員会報告としましては資料に記載のとおりです。

室合同委員会の後で ZOOM にて自己紹介や年間スケジュールについてお話をしました。次

第2回理事予定者会議 議事録

回の委員会はまだ開けていませんが明日の19日に開催予定で、卒業生へのプレゼントやJC手帳の構成の話を予定しております。

【地域創造室】(歌一行)

「共創まちづくり委員会」(平岡良之)

委員会報告としましては記載のとおりとなっております。

基本的には1年間を通してのスケジュールの確認を重点的に行いました。次回開催予定は未定となっております。

「まちの未来創造委員会」(村上直弘)

委員会報告としましては記載事項のとおりです。

10月11日にブロックアカデミーについてやっています。

【人財育成室】(高橋建太)

「青少年育成委員会」(半田祐喜)

委員会報告については記載のとおりです。

オンラインで行われたということもあり全員が参加でき、いいスタートを着ることができたと思っています。現在4月の家族会について話をしております。

「会員拡大委員会」(沼尾一)

委員会報告の提出ができておりませんでした。

9月25日にオンラインでZOOMにてメンバーの挨拶をし、年間スケジュールの確認を行いました。

10月15日に委員会メンバーで会いまして、実際に今引き継いでいる拡大情報をメンバー内で共有し既に知っている情報があれば拡大活動を積極的に行いましょうという話をしました。

14. 審議事項：(大西貴明)

第1号議案 一般社団法人尾道青年会議所 2022年度 委員会構成図(案)に関する件

(今岡正英)

資料1-1参照。

以前の構成図から仮入会員として向井くんが追加となっております。こちらの資料をご確認いただき、意見のある方は挙手にてお願いいたします。

無いようですので採決に移ります。人事案件ですので賛成の方は拍手にてお願いいたします。

*全会一致で承認

第2号議案 事務局職員の選任（案）に関する件

（大西貴明）

資料2-1、2-2参照。事業計画（案） 事務局職員の選任（案）に関する件読み上げ。

5から10項まではご一読いただければと思います。

只今回覧資料を回ささせていただいております。

知っている方もいらっしゃるかと思いますが前任の林さんから越智さんに引き継いで2年ほど経ちますが円滑に業務を遂行してもらっております。2022年度も引き続き雇用いたしまして、仕事をして頂こうと思っております。

（今岡正英）こちらの議案について意見・質問等ある方は挙手にてお願いします。

無いようですので採決に移ります。賛成の方挙手をお願いいたします。

*全会一致で承認

15. 協議事項：（今岡正英）

第1号議案 一般社団法人尾道青年会議所 2022年度 委員会事業計画（案）

並びに予算（案）について

（今岡正英）

資料3-1～3-6参照。

こちらは各室ごとに上程して頂き、その後皆さんに意見質問を求めるという形で進めたいと思います。

【65周年特別室】（吉田雄太）

「65周年実行特別委員会」（加藤雅崇）

私の所信と予算について説明させていただきます。

まず、所信についてですが、テーマは「Imagine ～想像しよう～」とさせて頂きました。

現代は様々な事柄が目まぐるしく変化していているという時代だと思います。

所信で上げたような大きな事柄もそうですが、人との繋がり方であったり、情報伝達の方法であったり、我々の日常の中での事柄も目まぐるしくどんどん変わっていております。

私達の住む尾道が10年後、20年後にどうなっているか誰にもわかりません。

先程今岡理事長予定者もおっしゃられていましたが、特にこういう局面に於いてはこれまでと同じこと、「守破離」で言う守の部分だけを行うのではなく、破や離の活動にも力を入れる必要があると感じております。そのためにまず必要になるのが想像することであると

第2回理事予定者会議 議事録

考え、所信を「Imagine ～想像しよう～」とさせて頂きました。

簡単なことではないと重々承知しておりますが、これからのまちを想像し、尾道青年会議所らしい、そして65周年にふさわしい活動を委員会メンバー、そして皆様と意を持って協力して行ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

所管業務に関してですが、簡単に内容と予算に関してご説明させていただきますと、新年例会に関しましては理事長予定者のお披露目を第一に考え、OBとの交流もできる範囲で工夫して行いたいと思います。そのため2021年度は予算が少し余っていましたがOBとの交流の部分で使えればと考えて同じ金額で希望を出しております。

記念式典に関しては基本的には例年のスタイルを踏襲しながら我々の色を出せる部分で出していきたいと思います。こちら60周年、一番近い式典に習った金額を希望しております。クリスマス会に関してはまだ1年以上先のことですので、その時のコロナウイルスの状況を見て事業を構築したいと考え例年通りで予算を希望しております。65周年事業に関しては内容は未定ですが会員の皆様が積み立ててこられたお金を使っての事業構築となり、大きな予算を提出させていただいております。まちのためになるような事業にしたいというのは当然ですが、会員みなさんが楽しめて、会として一丸となって取り組んでもらえるような物にしなければならないなと感じております。以上です。

「総務広報委員会」

総務広報委員会のテーマは「年中夢求」とさせて頂きました。音で聞いただけではわからないかと思うので今一度内容の方ご一読いただければと思います。要約いたしますと、昨今のコロナ禍における情勢の中で、やはり夢中になってJC活動をするという機会が失われつつあると感じております。総務広報委員会としてはそういったことを少しでも取り除く仕事ができるのではないかと思います、こういった言葉をつけさせて頂きました。少しでも夢中になって一生懸命やって頂けるような環境づくりをしていきたいと思っています。

また例年のパターンにはなるのですがホームページの更新やSNSの発信を頻繁に行い、これは本当に年中無休ぐらゐの勢いで更新して今、尾道青年会議所が何をやっているのかというのを分かってもらいたいと思っています。

事業計画に関しましては、例会・総会の設営及び運営、全体的な庶務の遂行に関しては例年通り。例会行事としましては浴衣会でなくとも良いとは聞いていますが具体的なことは決まっていますので委員会で話し合っていきます。新理事研修も例年通りです。卒業例会に関しましては私自身が卒業予定者ですので何をするかと決めることはできませんので、副委員長に一任することになりますが予算は例年通りとさせて頂いております。

活動記録の整理・保存及び広報活動の実践に関しましては去年と比べて1万円ほどアップさせて頂いております。例会の事業の記録やホームページの更新、もうひとつやってみたいと思っているのが日本JCや広島ブロック協議会で使用している会議のシステムを導入して会議の効率化を測れないかということの調査・研究費を言うものを上乘せさせて頂いた

第2回理事予定者会議 議事録

だいております。こちらはインターネット上での活動予算というようなイメージで見ただけだと思います。以上よろしく願いいたします。

(今岡正英) ありがとうございます。

吉田実行委員長、補足はございますか。

(吉田雄太) ございません。

(今岡正英) それでは両委員会の議案に対してご意見ご質問等ある方は挙手にてお願いいたします。

(内海洋平) 村橋委員長予定者に一点だけ。意見に近いものですが、SNS の活用が会全体の告知に偏っており、あまり頻度を上げていくというのできていない状況かなと思うのですが、その情報、ネタをどう集めるか、一般の方に見ていただけるような物を目指してほしいと思いますので頑張ってくださいと思います。

(村橋聡) どういった内容を掲載していくかというのは未知数だとまだ思うのですが、やはり事業が行われなければ記事も書けないということが正直あります。面白いネタというのは考えていきますが節度は必要だと思いますので注意していきたいと思います。頻繁にホームページの情報を解析していくと定期的に見に来てくださる方もいらっしゃいます。そんな中で更新頻度が少なければ面白くないと思われるかもしれませんので更新頻度を上げていき、最終的に拡大にもつなげていけたら良いと思っています。

(加藤雄大) 村橋委員長予定者に質問です。先程日本JCのシステムをというお話が有りましたが、それはアジェンダシステムのことでしょうか？

(村橋聡) アジェンダシステムです。私も昨年ブロック協議会の方に出向しましてシステムを1年間使わせてもらいました。やはりオンラインの中で使うにしても現地に集合して使うにしてもどちらも非常に使いやすく便利なシステムであると思いますのでまず体験していただきたいということで調査、研究というところで入れさせていただいております。

(加藤雄大) 恐らく知っている方、知らない方でイメージがつく方つかない方がいらっしゃるかと思いますのでまずはどういったものを共有していただければと思いますし、個人的には事務局を経験している身としては事務局メンバーの負担が軽くなるシステムであると思いますので是非導入に向けて頑張ってくださいと思います。

(島田昌広) 加藤副実行委員長予定者に質問です。所信の最後の方に、「これまでの尾道青年会議所の65年という時間を改めて見つめ直し、数十年先の未来に繋がるような活動を、」という風に記載されていらっしゃいますが、この65周年という重み、どういった部分、活

動、もしくはそういった65年の思い、どういったところに焦点を合わせて活動を構築していくのか、そういった思いがあればお聞かせください。

(加藤雅崇) どこに焦点を当ててというの正直難しい、ぱっとこれだという答えが無いのですが、今実際に新年例会に向けて過去の写真を、データを色々と振り返っております。もちろんこの歴史の重みがあるというのは頭では分かっていたのですが、写真何千枚、何万枚を見返すと本当に頑張っていた当時のJCの、尾道の方々はやられていたんだというのがよくわかりまして、なのでそのどれかを事業に活かすというのではなく、こういう風に頑張ってきたんだという思いを胸に、65周年特別のところを任されたというのが責任感でもありますので、自分の中でそれを力に変えて、そしてOBの方にも来てもらい、喜んでもらえるようなそういう物にこの65周年の記念事業はしたいと思っていますし、新年例会にもOBの方には来てもらおうと思っていますのでそこで思いが伝わるような設えにしていきたいと思っています。

(小西琢真) 加藤副実行委員長予定者に質問です。1月の新年例会がはじめての事業となると思うのですが、何か具体的なイメージがあれば教えて下さい。

(加藤雅崇) これは来月に協議上程を上げさせていただくので、細かいところはその際に皆さんでお話できればと思うのですが、現段階では本年度を基本に組み立てたいと思っています。具体的には食事やアトラクションは無しで理事長のお披露目を第一に考えています。

(村上直弘) 加藤副実行委員長予定者に質問です。新年例会のところは去年とほぼ同じような内容で自分の色を出すということですが昨年と同様の予算で収まるのでしょうか？

(加藤雅崇) 本年度は少し予算が余ったので、その中でできることを考えております。

【地域創造室】(歌一行)

「共創まちづくり委員会」(平岡良之)

テーマは「継がれてきたものを継ぐために」とさせていただきます。

このコロナ禍のこともあってここ数年間中々青年会議所活動をできないという自体が続いてまいりましたが、冒頭の安楽城直前理事長予定者の言葉にもあったように、来年これまでの活動を取り戻す、大事な年になるように、私も思っております、私も来年で入会13年ぐらを迎えますがその中で沢山の先輩方に教えてきていただいたことをこれから行っていく事業を通じてつないでいくことができればと思っております。

続きまして事業計画の方とさせていただきます。

共創まちづくり事業の調査・研究・実践に30万円とさせていただきますが、ここに関しては正直まだ、来年度他団体や尾道市がどういった事業を行うかというのがはっきりしていないというところはあるのですが、今の予定ではLOMメンバーは当選のこと、まちの

第2回理事予定者会議 議事録

皆様、他団体の皆さまを巻き込んで盛り上げることができればと思っております。

続いて尾道の伝統文化の調査・研究・実践になりますが、こちらもまだ神輿や祭り等の状況がわからないところがありますので参画の依頼等々あったときには順次対応させて頂こうと思っております。

例会事業に関しましては新年例会の後、LOMの例会としては一発目となっておりますので2022年度尾道青年会議所が1年間盛り上がっていきけるような例会を企画していきたいと思っております。

夏期講習に関しましては先程申し上げましたとおりコロナ禍で中々活動ができない中で近年入会者の方々と交流ができておらず、私自身3分の1、4分の1ぐらいの方が顔と名前を存じ上げない方が多いなと思っておりますのでLOMのメンバー一丸となって楽しめるような夏期講習を行っていきたいと思っております。

拡大活動に関しましては会員拡大委員会の皆様と協力していければと思っております。以上です。

「まちの未来創造委員会」(村上直弘)

所信に関しまして、テーマは「結」とさせて頂きました。

新型コロナウイルス拡大防止のために色々な事業がストップしており、人と人との結びつきが希薄になっていて、それを改善するような事業を構築していきたいと思い、「結」というテーマにさせて頂きました。

事業計画としましては広島ブロックアカデミーの企画・運営が6月にありますので尾道の良さをブロックのメンバーに知っていただけるような設えを予定しております。

まちの未来創造事業の調査・研究・実践に関しましてはまちと人が繋がれるようなことを考えて計画していきたいと思っております。

例会行事に関しましてはまちの未来を考えていく上でどのように考えていけば良いのかを考えて計画していこうと思っております。

会員拡大の実践は通年行っていきます。よろしく願いいたします。

(今岡正英) ありがとうございます。

歌副理事長、補足はありますか。

(歌一行) ありません。

(今岡正英) それでは両委員会の議案に対してご意見ご質問等ある方は挙手にてお願いいたします。

(加藤雅崇) 平岡委員長予定者に質問です。夏期講習は座学かレクリエーションかどちらを

第2回理事予定者会議 議事録

お考えでしょうか？

(平岡良之) 夏期講習に関しましては先程少し述べたとおり、なるべく会員のみなさんが交流を図れるように座学ではなく楽しめるレクリエーションを考えております。

(村橋聡) 村上委員長に質問です。広島ブロックアカデミーの企画運営とありますが、時期が6月なんですけど広島ブロック協議会は会員会議所会議などが2ヶ月に1回という形で行われていますので相当な速さで準備していく必要があると思いますが、現時点でどのような進捗状況でしょうか？

(村上直弘) 現状を申し上げますと尾道らしさと言うことで浄土寺と会場設置の協議をしております。借りれるのであれば尾道らしさは十分に活かせるのではないかと考えております。内容に関しましてはこちらでもまだ動きがあるのでまだここで申し上げにくい状況ですので申し訳ないですがご理解ください。

(大池慎三) 平岡委員長予定者にエールを。今年度私は祭りを担当していますが、一度も祭りが行われなかったのですが、開催の中止連絡は祭りの実行委員会からあるわけではないので委員長自らが早めにお寺に確認したほうが良いかと思えます。以上です。

(沼尾一) 平岡委員長予定者に質問です。共創まちづくりの事業の調査研究実践ということで、今年度私が大池委員長の下で防災まちづくりということで事業をやってきました。事業の名前が防災から共創に変わっていますが、今年の防災という名前からニュアンスが変わっているのではないかと思うのですが、事業の内容はどのような焦点で共創という言葉をとらえているのか教えて下さい。

(今岡正英) まず先にお伝えさせていただきますが、共創という言葉は私の方からお伝えさせていただきましたが、共に創るということで、防災に限る必要はないとお伝えしています。防災でなかったとしてもまちのためになるようなことであれば違うものを組み立てればいいと思えますし、必要であると思えば防災事業を構築してもいいと考えております。その内容をお伝えした上になります。平岡委員長お願いします。

(平岡良之) 質問の内容としましては、防災はしないのかという質問で間違いないでしょうか？

(沼尾一) そうです。

(平岡良之) 今1年間を通して来年の事業を考えていますが今の所防災の事業を行うつもりはございません。来年は一生懸命祭り委員会として失われた活気を取り戻すようなことをしていきたいと思っております。

(半田祐喜) 平岡委員長予定者に質問です。私も一昨年入会1年目で祭りの委員会に配属されたのですが、初年度のベッチャー祭りの神輿をやって以来祭りに関わる事がなくなり

第2回理事予定者会議 議事録

まして、もっと祭りがしたかったと個人的には思いました。来年度もし開催されればぜひ協力させていただきます。

(平岡良之) 当然まだ来年神輿があるかどうかはわかりませんがあった場合には当然燃え尽きてください。よろしくお願いします。

【人財育成室】(高橋建太)

「青少年育成委員会」(半田祐喜)

テーマは「今を全力で楽しむ」とさせて頂きました。人間はそれぞれ個性があるから面白いと思っています。その人にしかないものを引き出すサポートをしたり、多くのものを見てもらったり肌で感じてもらったり、経験してもらうことで視野を広げるアシストができればと考えております。青少年育成委員会ですので主役は子供になるのですが、子どもたちはもちろん、私自身もメンバーの皆さんにも楽しんでもらえるような活動を行いたいと思っております。

まだまだ未熟でわからないことばかりですが、色々悩んで壁にぶつかることもあるかと思いますが、今しかできない委員長ライフを楽しみながら頑張ろうと思っています。

事業の予算についてですが例年通りとさせて頂いております。以上です。

「会員拡大委員会」

テーマに関しまして、今岡理事長予定者の「守破離」を受けまして、離の方に特に注目した形でテーマを「新しい風」とさせて頂きました。コロナ禍で中々拡大活動がここ2年間思うようにできていないというところがあるのですが、その中でも拡大活動をしていかなければならない現状、来年度、その翌年度と13名ずつ卒業されるということで、どんどん減っていってしまうので拡大活動に力を入れる必要がある状況であると思っています。

そんな中で今までの拡大方法と変えたような形で、今までやってきた拡大活動で有益であると思うものは続け、有益でないと思うものは委員会メンバーと確認して止めていき、全員に参加してもらえるような形で、会全体として盛り上げられるような設えでやっていければと思います。

事業計画の予算繰りとしましては例年通りとなっております。しまなみ3JCへの参画ということで最後に通年として書かれておりますが、来年度尾道JCが会場となっておりますが全体の予算の構成も鑑みて、今回ここは予算を設定しない形でしまなみ3JC、今まで続いてきている物になりますので因島、今治を巻き込んだ形で何かできないかと考えております。以上です。

(今岡正英) ありがとうございます。

高橋副理事長、補足はありますか。

第2回理事予定者会議 議事録

(高橋建太) 特にございません。

(今岡正英) それでは両委員会の議案に対してご意見ご質問等ある方は挙手にてお願いいたします。

(村上康) 半田委員長予定者に質問です。子どもたちの個性を伸ばすというのは素晴らしい内容だと思いますが、今岡理事長予定者の所信の中で、子どもたちの育成に関して「尾道に戻りたい、尾道のために働きたい、そう思える郷土愛作り」という言葉が出てきますが、来年度の事業の中で個性を伸ばしつつ、子どもたちの郷土愛を育むような内容を盛り込む予定であるのか教えて下さい。

(半田祐喜) 郷土愛に関してですが、我々尾道で活動する人が尾道で活動する人間が一生懸命活動していると、この街が好きと、このまちの人が好きとってもらえるような活動を行うことで郷土愛のようなものが生まれてくるのではないかなと思っています。

(村上康) ありがとうございます。尾道の活気ということ子どもたちが尾道を好きであるというのが将来大切になると思いますので素晴らしいと思います。以上です。

(加藤雅崇) 半田委員長予定者に質問です。とてもいい所信であると思います。所信の中に「多くの物を見て、肌で感じ、視野を広げる機会を提供したい。」とありますが半田委員長予定者ご自身の経験でもいいですしお子さんの経験でも良いんですがこれに当てはまるような物があればお聞かせください。

(半田祐喜) 私も子供が3人おまして、長女なんです私がデザインの仕事をしているという影響も有り、絵が好きで漫画家になりたいというようなことを言っております。将来の夢を叶えるために、良いものを作っていくには、良いものをたくさん見て、クオリティの高いものを見せたり、体験させたりすることで自らいろんなことを自分で考えながら吸収してもらえたらなと思いつつ実際に子育てをしていっております。答えになっているかはわかりませんが以上です。

(加藤雅崇) 日常に無い良い刺激を与えるという受け取り方をしました。ありがとうございます。

(村橋聡) 沼尾委員長予定者に質問です。まだ今年の新入会員の人数も確定していないので来年のことを言うと鬼が笑うかもしれませんが、ズバリ来年拡大で何人行きましようか？

(沼尾一) ズバリ、40人行けたらなと思っています。なぜかと言いますと本当に人数がどんどん減っていきます。どんどん減っていくなら沢山、しっかりとJCの活動に共感してくれる方を入れていかなければと思いますので皆さんご協力よろしくお願いたします。

(村橋聡) 40人と言わずに50人目指していただければと思います。我々委員長は50人

第2回理事予定者会議 議事録

達成したら事務局に沼尾くんの銅像を建てようという話をしていますのでそれくらいの勢いで我々もがんばりますので一生懸命やっていきましょう。

(内海洋平) 沼尾委員長予定者に質問です。近年でいうと10名に満たないということがよくあると思うのですが、抜本的にやらなければ40名はかなり難しいと思いますが何か策はあるでしょうか？

(沼尾一) 40人入れるとなると、正直かなりの人数が打席に立たなければそれだけの拡大候補に会えないと思います。今までの拡大活動は自分たちの知っている人であるとか、取引先であるとか、そこが中心であったと思うんですがその枠を超えた形でまったくもって知らないところに関して拡大対象がないか、という形で声掛けも必要であると思います。Googleの地図上で会社として名前が上がっているところに関してもどんどん声をかけて経営者だけでなく社員の方ですとか、JCの活動に参加、共感してくれる方々、経済人問わず広げていければと思っています。

(内海洋平) ありがとうございます。打席に多く立つ、というのは会全体でやっていく必要があるかと思っています。我々もやらないといけないこともあるかと思いますがみんなで頑張れるように指揮をとっていただければと思います。頑張りましょう。

(今岡正英) ありがとうございます。今拡大の話が有りましたのでお伝えしますが、今お伺いしている段階で5名、固いのではないかとということでお聞きしております。スタートダッシュもかなりいいということですのでこの勢いであれば40名も夢ではないかと思っています。皆さんも現状分かっていると思いますので会員拡大ご協力よろしくお願いたします。その他意見・質問等あるでしょうか？

無いようですので以上でこちら、協議事項の第1号議案に関しましては閉じさせていただきます。

第2号議案 一般社団法人尾道青年会議所 2022年度 一般収支予算(案)について
(大西貴明)

資料4-1, 4-2 参照。事業計画(案) 予算(案) の読み上げ。

5から10項に関しましてはご一読頂きまして、添付資料を見てご説明をさせていただきます。

資料4-3 参照。

4-3の一般収支予算書内訳表(案) というところで説明をさせていただきます。

1番の会費収入としまして、正会員と特別会員、OB会員の会費を合わせまして10,272,000円となっております。雑収入で121,000円。合わせまして事業活動収入の系が10,393,000

第2回理事予定者会議 議事録

円となっております。

2番の事業活動支出ですが、先程の副実行委員長予定者、委員長予定者の皆さんが上程された予算をあわせまして、6,189,000円と例会費1,850,656円、こちらを合わせまして8,440,656円となっております。

管理費支出に関しましては後ほど管理費明細の方で説明をさせていただきます。

負担金支出としまして下記のJCI負担金支出と、こちらまだ2022年度は決定していませんので2021年度の方から金額の方入れさせていただきますまして、1,091,175円となっております。

続きまして2022年度は65周年ということで積立金の取り崩し収入といたしまして3,000,000円計上させていただきますいております。

それら全ての収支を合わせまして-2,115,663円となっております。

資料4-6参照

管理費明細に関してですが、前年度の修正予算という形で比較を入れさせていただきます。大幅に変更のあった部分を説明させていただきますが、リース料の複合機が大幅に安くなっております。こちらはリースの契約上で一定の日数が経った場合安くなるということになっておりますので、こちらが50,600円の計上となっております。これら管理費明細を合わせまして6,372,832円となっております。以上で上程を終わらせていただきます。

(今岡正英) ありがとうございます。こちらの議案に付きまして、意見・質問等ある方は挙手にてお願いいたします。

(村橋聡) 先程の4-6の管理費明細に社会保険料の記載がありますが、雇用保険料が来年度2倍になる可能性が謳われております。それに加えまして事務局員の越智さんが来年度40歳を迎えられるので介護保険料が0.9ほど上がります。それを考えますと16.93%ぐらいになりますので17%ぐらいで予算を組んで頂くのが適切ではないかと思っております。

(大西) 保険料等越智さんの給与に関しましては2021年同様に入れておりまして、社会保険の部分をおっしゃるとおり見直していませんでしたのでそちら審議にて修正させていただきますのでよろしくをお願いいたします。

(今岡) その他にご意見・ご質問等ある方はいらっしゃいますか？

無いようですのでこちらの議案に関しましては閉じさせていただきます。

第3号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2021年度 諸会議年間スケジュール

(案) について

(今岡正英)

資料5-1参照。

基本としまして、例会日は16日、合同委員会2日、理事会は6日ということで土日に当たる場合は金曜日もしくは月曜日ということで予定を組んでおります。その中でイレギュラーなのが5月14日の土曜日となっております。これは周年の式典に合わせて例会を行うということでこの日は14日土曜日となっております。

12月例会が12月14日となっておりますのは会場の関係で16日が使えないということが分かりましたので、14日に例会日を設定しております。

こちらの議案に関しましてご意見・ご質問等ある方は挙手にてお願いいたします。

特に無いようですので、こちらの議案に付きましても閉じさせていただきます。

以上で協議事項は終了となります。

16. 報告依頼事項：(大西貴明)

特に無し。

17. 連絡事項：(中島裕一郎)

3点連絡事項がございます。

- ① 理事就任承諾書は出して頂けましたでしょうか？まだの方は事務局か私まで提出をお願いいたします。新任の方は住民票もお願いいたします。
- ② 委員長予定者の方々にはお伝えしていますが出向者のメンバーを25日までに私までお伝え下さい。現在決まっている方がいらっしゃいましたらこの後でも結構ですので連絡ください。
- ③ 次回上程締切が11月2日(火)17時までとなっております。

18. 監事予定者講評

(島田元太) 皆様お疲れさまです。第2回予定者会議ということで事、実上リアルで開催されたということで第1回のような緊張の面持ちで来られたと思います。理事長が質問をしてくださと言われてるまで中々緊張が取れなかったのかなという風にも感じられるのですが事前に資料が配信されておりますので、見て、質問を考えてこられているんだろうなという方々と、今見ているんだろうなという方々というのがなんとなくわかるような感じでしたので、次回以降は是非質問、意見等考えて臨まれたほうがよろしいかなと感じました。それと予算の方で質問が1件しかなかったというのは少し寂しく感じました。皆様メンバー

第2回理事予定者会議 議事録

の代表でこの場にいらっしゃいますのでメンバーに質問された際に、「JCI 負担金」とは何か、「雑収入」とは何なのかなど答えられるぐらいになられている方が良いかなと思いますので予算、決算、ああいった数字の部分は少し目が痛くなるかもしれませんが少し考えられて臨まれたほうが良いかなと思いました。以上で監事講評を終わります。

(高升純) 皆様お疲れさまです。私からは一点だけ、島田監事が言いたいことを言ってくさったので、今日のメインは皆さんの所信にあったのではないかなと思います。この所信を委員長を通して忘れる瞬間がもし来たときに、壁に当たるときが幾度となくあるのではないかなと思いますが、この委員長所信表明、字は違いますが初心を忘れずにこの先ずっと、何かあったときにこの手帳に載った自分の思いを書いたところに立ち返って、またそのときにどういった活動をしていくのかそういったことを考えていって頂けたらと思います。また理事会の際に質問を理事長の方からしてはどうかという話があると思いますが、質問をする側、される側、理事会の中で気を使ってすとか、言わないほうが良さそうだからしないとかそういう話ではなく、本当に自分の議案に対して人が真剣に考えているからこそ、そこに質問であったり意見が生まれると思いますので皆で他の委員長、他の委員会が出した上程に関してどういった風に思うかというのをしっかりとこの場でもんでいただければ更に良い理事会になるのではないかなと思いました。以上です。

19. 次回開催日の確認：(大西貴明)

11月18日(木) 19:00より。尾道国際ホテルにて。

20. 閉会：(大西貴明)

21. 点鐘：(今岡正英)

第2回理事予定者会議 議事録

議長	今岡正英	印
署名人	島田元太	印
署名人	高升純	印
作成者	安保大輔	